

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲	第 号	氏 名	神田 卓弥
審 査 委 員		主 査 氏 名	岡林 環 祐 子
		副 査 氏 名	新 竜 一 郎
		副 査 氏 名	片 本 宏
[論文題名] <i>Mycoplasma bovis</i> が分離された牛の疣贅性心内膜炎の病態に関する研究 Bovine Endocarditis Associated with <i>Mycoplasma bovis</i> Journal of Comparative Pathology, 171:53-58. 2019, DOI: 10.1016/j.jcpa.2019.07.003			
[要 旨] <p><i>Mycoplasma bovis</i> (<i>M. bovis</i>)は牛に対して、肺炎・乳房炎・中耳炎・関節炎等の様々な病態を生じさせる。牛の心内膜炎の多くが、細菌等の微生物が血行性に心臓の主に弁膜に接着し定着することで増殖性の病変を形成する感染性心内膜炎である。心内膜炎は、多くの場合に特異的な臨床兆候がなく、そのほとんどがと畜検査において摘発される。本研究では、世界的に未報告の <i>M. bovis</i> が分離された牛の心内膜炎症例について、病理組織学的・微生物学的調査研究を行った。</p> <p>心内膜炎と診断された牛の心臓、肺、腎臓、肝臓および脾臓を採材し、病原体培養、遺伝子検出、病理解析を実施した。その結果、全ての心臓病変部位から <i>M. bovis</i> の分離に成功し、<i>M. bovis</i> 肺炎や関節炎と同様のマクロファージの浸潤などを観察した。肺に感染した <i>M. bovis</i> が、血行性に左心房に到達して病変を形成し、その後全身に播種する可能性を指摘している。</p> <p>以上、本研究では、<i>M. bovis</i> が関与する牛の心内膜炎について世界で初めて報告し、<i>M. bovis</i> が血流によって全身に広がる全身感染症であることを強く示した。今後、病態機序など明らかにすることで、新たな心内膜炎対策に寄与する知見が得られると考え、学位論文に値するものと判断した。</p>			

最終試験結果の要旨

博士課程 甲	第 号	氏 名	神田 卓弥
審 査 委 員		主 査 氏 名	岡本 環樹
		副 査 氏 名	新 竜 一 郎
		副 査 氏 名	片本 宏
<p>[要 旨]</p> <p><i>Mycoplasma bovis</i> (<i>M. bovis</i>)は牛に対して、肺炎・乳房炎・中耳炎・関節炎等の様々な病態を生じさせる。牛の心内膜炎の多くが、細菌等の微生物が血行性に心臓の主に弁膜に接着し定着することで増殖性の病変を形成する感染性心内膜炎である。心内膜炎は、多くの場合に特異的な臨床兆候がなく、そのほとんどがと畜検査において摘発される。本研究では、世界的に未報告の<i>M. bovis</i> が分離された牛の心内膜炎症例について、病理組織学的・微生物学的調査研究を行った。</p> <p>心内膜炎と診断された牛の心臓、肺、腎臓、肝臓および脾臓を採材し、病原体培養、遺伝子検出、病理解析を実施した。その結果、全ての心臓病変部位から<i>M. bovis</i> の分離に成功し、<i>M. bovis</i> 肺炎や関節炎と同様のマクロファージの浸潤などを観察した。肺に感染した<i>M. bovis</i> が、血行性に左心房に到達して病変を形成し、その後全身に播種する可能性を指摘している。</p> <p>申請論文の内容及び関連領域について口頭で試問した結果、学位を授与するに値する学力を有するものと認定した。</p>			